

お客様と関東センターをつなぐ・・・

2018年

# 関東センター

# NEWS

## 第32号

### 巻頭言

#### 第77回 全国産業安全衛生大会in 横浜が開催されました。

2018年10月17日～19日の3日間、第77回全国産業安全衛生大会が25年ぶりに横浜で開催されました。皆様のご協力によりまして、11,000名を超える方々にご参加いただきまして、大変盛会な大会となりました。また、同時開催された緑十字展にも述べ22,000名を超える方々にご来場いただき、こちらも盛況を博しました。ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。

初日の表彰式では、味の素株式会社様とTANAKAホールディングス株式会社様が会長賞を受賞し、顕功賞および緑十字賞の表彰が行われました。また、特別講演は東京大学の伊藤元重教授によるもので、労働安全衛生の将来に関係する大変参考になる講演をお聞きすることができました。2日目、3日目には、各分科会場で250件を超えるそれぞれの事業場様の好事例をご発表いただき、また、パネルディスカッションや特別講演も開催され、どの会場も盛況でした。

来年の第78回全国産業安全衛生大会は、2019年10月23～25日に京都で開催されますが、京都での開催は初めてです。ぜひ、来年京都でのご発表やご参加をご検討いただきますようお願い申し上げます。

なお、中災防関東センターでは、各種研修会の開催、講師派遣や情報提供などを行っておりますので、是非この機会にご活用いただくと幸いです。

関東安全衛生サービスセンター所長 水沼 一典

#### 第48回 年末年始無災害運動がはじまります!

..... 2018年12月15日～2019年1月15日 .....

#### 「みんなで感謝の総点検 笑顔で迎える 年末年始」

今年も11月1日から第48回年末年始無災害運動販売キャンペーンがスタートします。この年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動です。

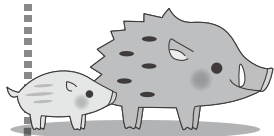
とりわけ年末年始は、あわただしく、生活のリズムも変わりやすく、特に、大掃除や機械設備の保守点検・始動等、非正常作業が多くなることから、各事業場、職場では災害防止のための特別な配慮が必要となります。

中災防では、事業場の安全衛生活動の推進に活用できる各種ポスター、図書、用品、記念品など豊富なアイテムをご用意しておりますので、従業員の方に対する周知・啓発、教育にぜひご利用ください。

好評発売中!

#### 来年の準備はもうお済みですか?

2019年版の安全衛生カレンダーと安全衛生手帳。今年も発売しております!!



カレンダーのテーマは「心に灯る、十二の景色 一カラーヒーリングで癒されて」。12カ月の美しい自然風景を見つめて2019年を健やかに過ごしてください!また、大きな記入スペースがあり、安全衛生行事・雑節も入っているので大変便利です!環境にも配慮し、不燃ごみを出しません!是非ご利用ください!(1部1,296円(税込))

安全衛生手帳は、職場の安全衛生活動を進めるみなさんに欠かせない手帳です。なぜなら・・・労働災害の現況など、安全衛生情報が盛りだくさん!ぜひ、ポケットにこの頼れる1冊をどうぞ!(1冊756円(税込))

安全衛生相談、お問合せはお気軽に中災防・関東安全衛生サービスセンターへ  
お問い合わせは 03-5484-6701

# お勧め研修会はこちら!

<http://www.jisha.or.jp/kanto/index.html>

## 安全衛生スタッフ向け リスクアセスメント実務研修

リスクアセスメントの考え方、実施方法、仕組みづくり等についての基本が分かります。

本研修は、厚生労働省通達(平成12年9月14日付け基発第577号)に基づく研修で、同通達によるリスクアセスメント担当者研修を修了したことになります。

- 日程
- ① 2018年 12月 4日(火)
  - ② 2019年 1月18日(金)
  - ③ 2019年 2月 8日(金)
  - ④ 2019年 3月 4日(月)
  - ⑤ 2019年 3月22日(金)

- 開催地
- ① 吾妻ビル9階(東京都港区芝浦)
  - ②③⑤ リオテック芝ビル4階(東京都港区芝)
  - ④ 千葉県経営者会館(千葉県千葉市中央区)

## 管理・監督者向け転倒予防・ 腰痛予防セミナー

転倒や腰痛を防止するための設備対策や作業方法改善のノウハウ、転倒しにくい、腰痛になりにくい体づくりのポイントが学べるセミナーです。

日程 2019年2月4日(月)

開催地 安全衛生総合会館(東京都港区芝)

災害発生の原因を人・物・管理・作業経過の面から的確に把握して対策を講じるために 本セミナーでは、「なぜな

本セミナーでは、安全スタッフのスキルアップを目的に、安全活動を進める上で陥りやすい"落とし穴"の傾向と対策について、安全と人づくりサポート代表・古澤登講師が豊富な安全指導の経験と長年にわたる現場に基づいた実践論をもとに解説いたします。

日程 2019年2月6日(水)

開催地 安全衛生総合会館(東京都港区芝)

## 行政情報

## 「安全帯」が「墜落制止用器具」に変わります

高さが2m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なときは、労働者に安全帯を使用させる等が義務になっています。今般、その安全帯の名称が墜落制止用器具となり、落下を制止する際に肩・腰部・腿等複数個所において支持するタイプのフルハーネス型を使用することが原則となります。高さ2m以上6.75m以下の箇所では、胴ベルト型の墜落制止用器具を使用することができますが、平成31年2月1日以降は、6.75mを超える高さの箇所では、フルハーネス型のものでなくてはなりません。高さが2m以上の箇所ですフルハーネス型墜落制止用器具を着用して行う作業に就く者は、特別教育の受講が必要になります(学科4.5時間、実技1.5時間)。

